

【学習課題】ディベートにチャレンジ！話し合い名人になろう  
めあて **モデルディベートを計画し、準備しよう**

論題 インスタント食品を積極的に  
取り入れるべきである

**分担表**

役割	名前
司会者	
タイムキーパー	
賛成側	
反対側	
しん判役	
フロア	

**モデルディベートの進行表**

賛成側立論  
反対側立論  
(作戦タイム)  
賛成側質問  
反対側質問  
意見交流  
(作戦タイム)  
反対側結論  
賛成側結論  
判定

**【討論者として準備すること】**

- (1) 立場の確認
- (2) 立論の決定  
立論は2つ  
根きよと資料の準備
- (3) 作戦  
作戦カード  
質問の予想 答え  
作戦カード  
相手の立論予想 質問・意見
- (4) 発言の分担
- (5) 練習

**6 / 12 時間目 指導略案**

活動のねらい

立場を明確にしながら、モデルディベートの計画・準備をする。

ワークシート 立論カード 作戦カード  
司会者の手引き 時間記録用紙 判定カード

**1 役割分担を確認し、準備の手順を確認する。**

クラスの人数が多いときは、時間の都合上、代表者によるモデルディベートを行うが、可能であればモデルディベートを何度か行い、すべての児童に根拠を基に意見をいう体験をさせたい。この場合は、上の分担表を数枚準備する。  
代表者によるモデルディベートをする場合も、すべての児童に「賛成側」「反対側」のどちらかの立場に立たせる。そしていくつかのグループを作り、準備させる。「司会者」「タイムキーパー」を決める。  
役割は、前もって分担しておく時間を割かなくてよい。

**2 手順に従って、賛成側・反対側のそれぞれのグループで準備する。**

論題に対して賛成・反対両方の考えを紹介し合う。  
両方の立場に立って立論を考えさせることで、相手側の立論を予想できたり、質問されることが予想できたりする。  
自分たちの立場として、どの立論が説得力があるかを話し合い、二つ決める。  
立論の理由や根拠を話し合い、立論カードにまとめる。

**3 作戦を立てる。**

相手側から質問されることを予想し、その答えを考えて書く(作戦カード)  
相手側の立論を予想し、質問や指摘したい点について考え書く(作戦カード)  
提示したい資料があれば、準備する。  
「司会者」「タイムキーパー」に、「司会の手引き」「時間記録用紙」を渡し、話し合いの打ち合わせを行う。(授業時間外でもよい。)  
判定の基準・方法について知らせておく。

**4 デイベートをイメージしながら発言の練習をする。**

デイベートの進行表を確認させながらイメージさせ、発言の練習をさせる。  
評価 立場を明確にしながら、グループで協力し、立論や作戦を立てている。

**5 次時の学習について確認する。**

次時は、モデルディベートを行うことを確認する。  
\* 学級の実態に合わせて、準備の時間を一時間増やしたり、課外の時間に進めさせたりする。また、それぞれの準備の進み具合を確認し、必要に応じて課外で支援する。